



大分大学 (大分県)

緑豊かなキャンパス。温かい指導。大分で日本語・日本文化を研究しよう

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

教育学部、経済学部、医学部、理工学部、福祉健康科学部、5大学院（教育学、経済学、医学系、工学、福祉健康科学）からなり、2024年5月現在、約5,500人が学ぶ国立の総合大学です。

緑豊かなキャンパスで「創造性や人間性に富む人材の育成」、「国際社会の平和と発展への貢献」、「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育が実践されており、少人数制の教育の下、教員やスタッフと親密な関係が築け、日本人学生との交流も活発に行うことができます。

② 国際交流の実績

本学は、2024年5月現在26の国と地域の80大学と学生交流協定を結んでおり、110人の留学生が学んでいます。

本学の日研究生プログラムは2004年に始まり、毎年日研究生を受け入れています。

このプログラム以外にも、協定校間で短期留学生を対象とした交換プログラムがあり、ヨーロッパ、中国、韓国、ベトナムなどから、毎学期約50人の交換留学生が学んでいます。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研究生）の受入れ実績

2024年：留学生数110人、日研究生1人
2023年：留学生数123人、日研究生2人
2022年：留学生数 87人、日研究生2人

④ 地域の特徴

知っていましたか？大分県の人口10万人当たり
に占める留学生の数は2023年度は**日本で3番目**、

大分県は多くの留学生を受け入れています。

大分県は九州東部に位置し、県庁所在地の大分市は人口約48万人の地方都市です。東京や大阪などの大都市に比べて物価が安く、人々も親切で、留学生には生活しやすいところです。

別府や湯布院などの全国的に有名な温泉地には世界各国から多くの観光客が訪れています。

豊かな自然に恵まれた大分県は、1年を通じて温暖で過ごしやすく、**四季折々の自然の美しさを堪能**することができます。

歴史的に見てもたくさんの魅力があります。戦国大名の**大友宗麟**が治めていた時代の**大分市は日本を代表する国際都市**でした。時代を遡れば11世紀から12世紀にかけて彫られた臼杵石仏、8世紀に建立された宇佐神宮（いずれも国宝）など、多くの訪れるべき名所旧跡があります。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日研究生は、日本語・日本文化に関わるテーマを一つ選んで、調査・研究の方法、日本語での論文の書き方を学び、じっくり時間をかけて論文を完成させます。日研究生の指導を長年行っている**経験豊富な指導教員が論文指導を行うので、安心して論文作成に打ち込みます。**

また、論文作成と並行して、中級から上級までの日本語科目並びに日本事情科目の中から自らのレベル・目的に合った科目を選択することで、**日本語の更なる向上も目指します。**

③ 受入定員

5名（大使館推薦2名、大学推薦3名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 日本語検定試験N2またはそれ以上を取得している者が望ましい。
- 2) 外国（日本以外）の大学で、日本語・日本文化に関する分野を専攻としている者。日本語・日本文化に関する分野を専攻していない場合は、日本語・日本文化に強い関心を持つ者。
- 3) 来日時点で日本語を300時間程度学習していること。
- 4) 日本語が母語でないこと。
- 5) 日本語で日常会話ができること。
- 6) 自分の得意な研究分野の日本語論文を、辞書を使って読む能力を有していること。
- 7) 400字の長さの日本語エッセイを辞書を使って30分程度で書ける能力を有していること。
- 8) 日本語・日本文化をテーマに調査・研究を自主的に行う意欲があること。

⑤ 達成目標

- 1) 学術的な目標
 - ・論文の書き方を習得し、自ら専門の分野の論文を実際に執筆し、完成させる。
 - ・学術論文の書き方（以下参照）について学ぶ。
 - ✓序論・本論・結論の論理的繋がりの理解
 - ✓理論構築とデータ収集のバランスのとり方
 - ✓参考文献の提示の仕方
 - ✓テキスト内引用の方法

2) 日本語運用上の目標

- ・対人関係やその場に配慮した大人の日本語が理解でき、話せるようになる。
- ・大学の教養教育課程レベルで要求される日本語能力（レポート作成および発表）を身につける。具体的には、授業内容を理解しレポートを書くことができ、授業内で発表ができるようになる。
- ・地域との交流に必要な日本語が理解でき、話せるようになる。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2025年9月下旬 ～ 2026年8月下旬
(2025年9月27日 ～ 2026年8月31日[予定])

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月 ～ 2026年8月

⑧ 年間行事・年間スケジュール

9月下旬 渡日

開講式、オリエンテーション、
プレースメントテスト、健康診断

10月 後期授業開始、

新留学生歓迎会、チューターとの研修旅行

11月 学園祭

消防避難訓練

12月 国際文化祭

12月下旬～1月上旬 冬休み

2月 後期末試験

2月～3月 春休み

4月 前期授業開始

健康診断

5月 消防避難訓練

7月 七夕祭（大分大学）

留学生送別会

8月 修了式

8月下旬 帰国

⑨ コースの修了要件

- ・通年で14科目以上を受講し、28単位以上修得すること。
- ・「日本研究I」（後期）と「日本研究II」（前期）は必ず受講し、単位を修得すること。

※コース修了者には、修了証書および成績証明書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

本学は、大分の魅力を発見することができるさまざまな科目を用意しています。2)に説明する必須・選択科目の中から、1週間に7科目以上を受講する必要があります。それぞれの科目は、1週間に1コマ（90分）の開講で、日研究生はコース修了までに**少なくとも315時間の日本語・日本文化の研修**を受けることになります。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

・日本研究I、II(修了研究、通年45時間)：「日本研究I」（後期）と「日本研究II」（前期）は修了研究として、各学期に必ず受講する必要があります。指導教員の指導の下、日本語・日本文化に関するテーマを一つ選び、調査・研究を行い、その成果を論文として「日本研究II」で提出し、国際教育推進センター紀要で発表します。

・日本語科目（表1）：日本語科目は、入学前に実施されるプレースメントテストの結果により受講レベルが判定されます。日本語科目は中級と上級の各レベルに読解や作文など目的別の科目があり毎学期最低3科目（通年135時間）受講しなければなりません。

II) 選択科目

・グローバル科目：表2をご覧ください。
・教養・専門科目：各学部の日本人学生のための科目です。

3) 地域の見学や地域交流等、参加できる科目及びその具体的な内容

・表2をご覧ください。

4) 日本人学生との共修等の機会

グローバル科目（表2）は国際人養成のための科目で、日本人学生と一緒に学びます。「Manga Studies」「日本の歴史・文化・社会入門」「大分地域理解」「日本語学I」などがあります。

表1 中級から上級までの日本語科目（一部抜粋）

科目名	JLPTレベル
日本語4文法 I	N2
日本語4文法 II	N2
日本語4スピーキング	N2
日本語4読解 I	N2
日本語4読解 II	N2
日本語4作文 I	N2
日本語4作文 II	N2
日本語4応用 I	N2
日本語4応用 II	N2
多読で学ぶ日本語	N3以上
日本語5文法 I	N1
日本語5文法 II	N1
日本語5スピーキング	N1
日本語5読解・作文 I	N1
日本語5読解・作文 II	N1
レポート・論文作成	N1
ビジネスジャパニーズ演習 1, 2	N1
日本研究 I	
日本研究 II	

表2 日本人学生と共修のグローバル科目
(一部抜粋)

科目名	内容	JLPT レベル
ソーシャルネット ワークと大分から の発信Ⅱ	大分地域の環境 保護、阿蘇の状況 を知る	中級以上 (日英語で 授業)
大分地域理解	複数の文化や言 語の視点から大分 の社会や歴史を学 ぶ	中級以上
歩いて楽しい街: 大分と別府	大分市・別府市の 街並みを観察し、 町おこしを考える	中級以上 (日英語で 授業)
日本語表現技術	フォーマルなス ピーチと論理的な ディスカッションの 方法を学ぶ	中級以上
日本語学Ⅰ	日本語の音声、語 彙、方言、文法な どを学ぶ	N1
ビジネスジャパ ニーズ演習3、4	就職対策及びビジ ネスに関する情報 収集法などを学ぶ	N1
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	若い女子のファッ ションの変容を経 済と大衆文化の歴 史から概観する	中級以上 (日英語で 授業)
Manga Studies	日本のマンガの 様々なジャンルを 検証し、社会文化 に与える影響につ いて議論する	英語

注: 下線の科目は見学・地域交流を行う参加型の科目

⑪ 指導体制

プログラムの責任教員は、国際教育推進セン
ターの坂井美恵子(さかい みえこ)教授です。

個別研究指導は国際教育推進センター教員が行
い、並行して指導教員から指導を受けたチュー
ター(本学正規生)による日本語学習支援も受け
ることができます。

個別指導の専門分野は「日本語教育」、「日本
語教授法」、「外国語教育論」、「応用言語学
(CALL・動機・第2言語習得研究)」、「大分学
(歴史・言語)」、「ジェンダー・スタディー
ズ」、「中間言語語用論」、「日本文学(主に近
代・現代)」、「大衆文化研究」、「比較文化・
文学理論研究」などです。

■ 宿 舎

日本人学生が多く生活している学生寮に入居し
ます。そのため日本語漬けの生活を送ることがで
きます。詳細は以下の表3をご覧ください。

表3 学生寮の部屋代・設備など

部屋代 (月額)	27,000円 または 22,000円 (全室一人部屋)
設 備	机、椅子、ベッド(寝具なし)、 クローゼット、ユニットバストイレ、 ミニキッチン(冷蔵庫、IHクッキング グヒータ)、エアコン
部屋代以外 の費用	維持管理一時金 26,400円(入居時) 水道料 2,000円/月 電気は個別契約 インターネット料 2,037円/月(全員加 入)

■ 修了生へのフォローアップ

日研生プログラム修了生は、ブログ、Facebook、
Skype等のソーシャルメディア・プラットフォーム
及び電子メールなどを通じて、修了後の更なる学
術的指導及び進路相談を受けることができます。
また、Facebookを通して他の修了生との情報交換
も行うことができるとともに、大分大学及び大分
地域の最新情報を入手することができます。



授業(グローバル科目): 大分地域体験での茶摘み体験

■ 問合せ先

<担当部署>

大分大学 学生支援部 学生・留学生支援課

住所: 〒870-1192
大分県大分市旦野原700番地

TEL: +81-97-554-7444 (直通)

FAX: +81-97-554-7437

Email: ryugaku@oita-u.ac.jp

<ウェブサイト>

大分大学国際教育推進センター
<https://www.gaia.oita-u.ac.jp/>

大分大学

<https://www.oita-u.ac.jp/>

日研生について

<https://www.gaia.oita-u.ac.jp/academic/kokuhi/>